

One Voice  
キャンペーン  
実施中



安心して暮らせる世の中へ



被害者の声  
を司法に反映  
させよう!

# 刑法性犯罪の改正を実現させよう!

日本では、女性の13人に1人が、無理やりに性交等を強いられた被害経験があり(男性は67人に1人)、その内の2.8%しか、警察に連絡していません(男性は8.7%)。(平成29年内閣府男女共同参画局調査)

今の刑法では、調査には出てきづらいLGBTQの方も含め、被害者が訴えようとしても、狭い条件に合った事件しか裁くことができません。加害者の多くは、卑劣な行為を処罰されない現状があります。

## 👉 **暴行脅迫要件の見直しと不同意性交等罪の創設**を求めます。

現在は暴行脅迫要件があり、被害者が性交に同意していないことが明らかでも、抵抗困難な程度の暴行脅迫がなければ加害者を罪に問えない。

## 👉 **公訴時効の撤廃**を求めます。

現在は、強制的性交等罪は10年、強制わいせつ罪は7年を過ぎたら、加害者を罪に問えない。性暴力にあった人は(子どもは特に)、提訴できない状態が長引くことも多い。再犯防止と被害者の尊厳回復のため、時効を無くしたい。

## 👉 **性交同意年齢を、16歳未満に引き上げる**ように求めます。

現在の性交同意年齢が13歳は低すぎる。子どもの人権を守るため、少なくとも義務教育以下の子どもを、性的接触から守りたい。

## 👉 **地位関係性を利用した性犯罪規定の創設**を求めます。

上司と部下、教師と生徒、医者と患者など、上下関係の優位な立場の者に対しては、抵抗しにくい。また、所属先での人間関係から切り離される恐れから、助けを求めることが難しく、孤立しやすい。

🏠 先進諸国では、相手の同意のない性行為を犯罪として処罰する国が増えています。

## 🌸 2020年春、法改正への扉を開けよう 🌸

2020年春に、政府は刑法性犯罪の見直しを検討することになっています。2018年、性暴力問題に取り組む議員連盟が発足。昨年11月、刑法改正市民プロジェクト(12団体連合)は、被害者の声を反映した改正が行われるように要望書を提出しました。地方議会(埼玉県三芳町、京都府長岡京市、奈良県、静岡県等)からも、見直しを求める意見書が提出されています。法改正の扉が閉ざされないよう、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## フラワーデモ

不当判決1周年  
3月8日開催  
(感染症対策のため東京はネット開催)



性犯罪の裁判で無罪判決が続いたことに抗議し、'Me too'と'With you'の気持ちで、毎月11日、花を身につけて集まり声をあげてきました。デモは各地に広がり、2月には40都道府県45都市で開催されました。3月は全国47都道府県で開催します!

## 署名活動



性犯罪における刑法改正を求めるとして、2019年6月に45,875筆で法務大臣に提出しました。署名活動はchange.orgで10万筆を目指して続行中です!(2月現在、8万筆を超えています)

## Spring One Voice キャンペーン



性暴力や刑法性犯罪に関するあなたの思いを、One Voiceシートに書いて写真に撮り、画像データをonevoice@spring-voice.orgに送って下さい。シートのみ画像でもOKです。SNS等に掲載してもよいのかも、お書き添え下さい。集めたOne Voiceは、国会議員や法務省に刑法改正の世論を伝えるために活用します。



ボランティア  
\*会員募集中\*  
より安全な社会を、一緒に  
作っていきませんか!

一般社団法人 Spring ~性被害当事者が生きやすい社会へ~

(お問い合わせ先) onevoice@spring-voice.org (ホームページ) http://spring-voice.org/

